

平成26年4月～6月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺 市
堺商工会議所

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 平成26年6月16日（月）～平成26年6月30日（月）
4. 回収率

	調査対象数	回収数	回収率
建設業	200社	115社	57.5%
製造業	200社	112社	56.0%
卸売業	100社	53社	53.0%
小売業	100社	60社	60.0%
サービス業	200社	116社	58.0%
全産業	800社	456社	57.0%

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(4月～6月期)の前年同期比を見ると、需要の減少、原材料価格の上昇等により業況判断、売上高、採算ともに悪化し、資金繰りもやや悪化となっている一方、雇用人員はやや改善している。

また、来期(7月～9月期)については、業況判断、採算、雇用人員が改善、売上高はやや改善と予測されている一方で、資金繰りについては悪化と予測されており、今後も、引き続き市内中小企業の動向を注視していく必要がある。

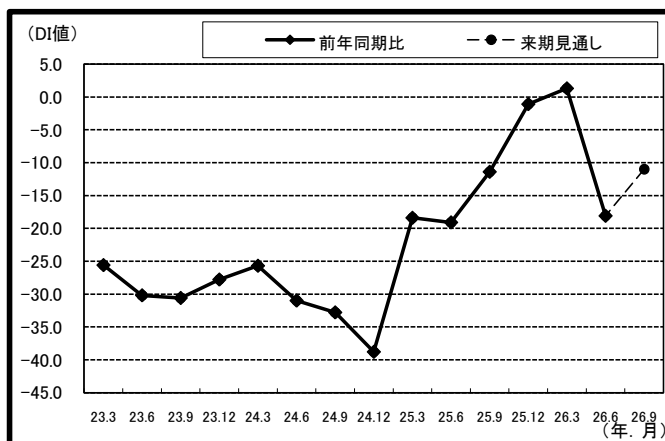
1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は悪化。
(1.3⇒△18.1)

・来期見通しの指標は改善と予測。
(△18.1⇒△11.0)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、サービス業はともに2期連続で悪化。製造業、卸売業、小売業は悪化。

・前年同期比の指標は悪化。



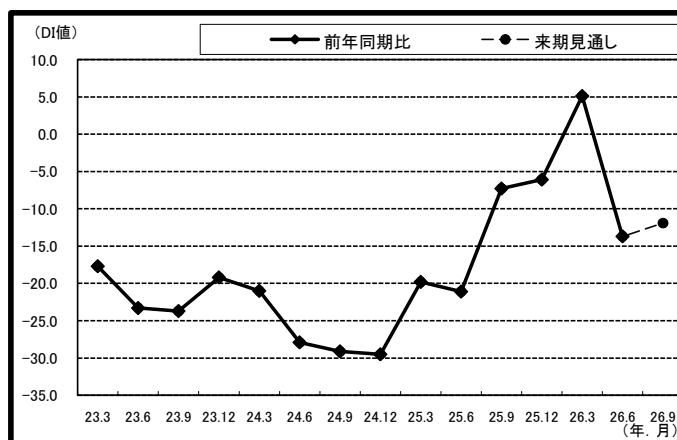
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は悪化。
(5.1⇒△13.7)

・来期見通しの指標はやや改善と予測。
(△13.7⇒△11.9)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業すべて悪化。

・前年同期比の指標は悪化。



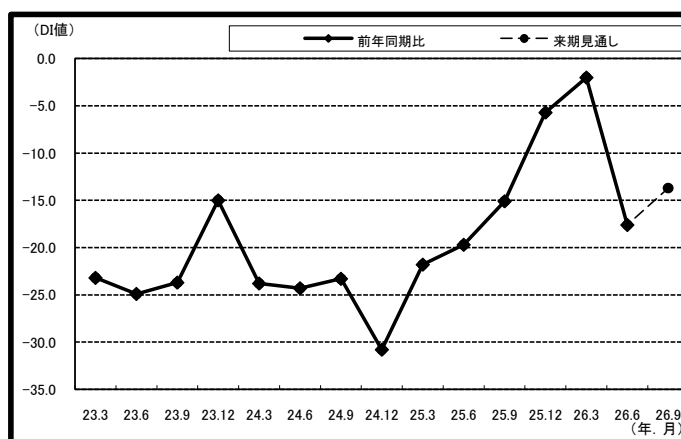
3. 採算の動向

・前年同期比の指標は悪化。
(△2.0⇒△17.6)

・来期見通しの指標は改善と予測。
(△17.6⇒△13.7)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、製造業、卸売業、小売業はともに悪化。サービス業はやや悪化し、悪化傾向は2期連続。

・前年同期比の指標は悪化。



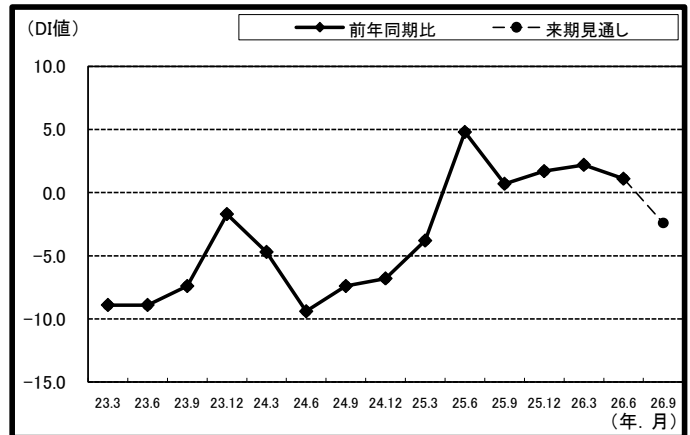
4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標はやや悪化。
(2.2⇒1.1)

・来期見通しの指標は悪化と予測。
(1.1⇒△2.4)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業はやや改善。製造業、小売業はともに悪化。卸売業、サービス業はともに改善。

・前年同期比の指標はやや悪化。



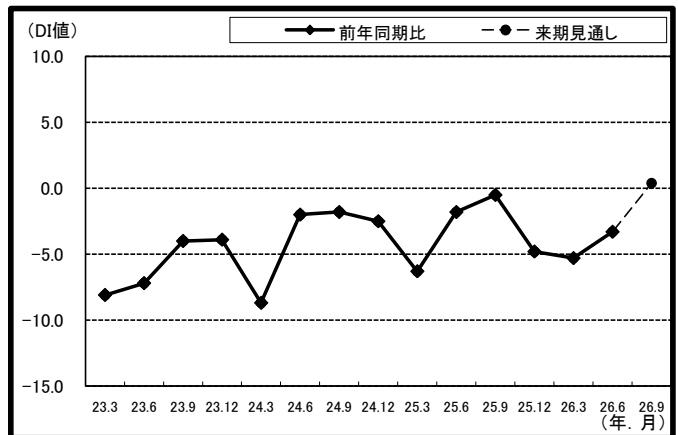
5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標はやや改善。
(△5.3⇒△3.3)

・来期見通しの指標は改善と予測。
(△3.3⇒0.4)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業はやや悪化し、悪化傾向は2期連続。製造業、小売業はともに2期連続で改善。卸売業は悪化。サービス業は改善。

・前年同期比の指標はやや改善。



来期見通し

平成25年7月～9月期と比較した平成26年7月～9月期の見通しは、売上高はやや改善、業況判断、採算、雇用人員は改善と予測している。一方資金繰りは悪化と予測している。

お 問 い 合 わ せ 先

〒591-8502

堺市北区長曾根町 130 番地 23

堺商工会議所

経営支援部経営支援課

TEL 072-258-5581

FAX 072-258-5580